

令和4年5月1日

## 学生の募集停止について

静岡大学地域創造学環

学環長 江口昌克

このたび、静岡大学地域創造学環（以下、地域創造学環）は、静岡大学グローバル共創科学部（仮称）の設置に伴い、令和5年度より学生募集を停止することになりました。在学する学生の皆様はもとより、地域において地域創造学環を支えていただいた各界各層の皆様には、ご心配をおかけすることになり申し訳ありません。

学長のメッセージにもありますように、今年度入学者を含めて在学生の皆様が卒業するまでは、現在の地域創造学環の教育体制が維持され、責任をもって教育を実施いたしますので、この点に関してはご心配なきようお願い申し上げます。また、就職支援につきましても大学として全力で支援をしていきます。

また、地域創造学環は、新学部を含む学内連携をはじめ、協働を進めてきた地域の自治体・企業・民間団体の方々と、今後の地域づくり人材養成機能の維持発展につき、具体的な検討を進めております。

地域創造学環は、静岡大学COC+における教育改革に伴い、従来の学部の枠組みを越えた全学学士課程横断型教育プログラムとして、2016年4月に開設されました。2017年に、本学は「地域志向大学」宣言を公表し、地域社会に貢献する人材育成を地域社会とともに進めるための大学改革を打ち出し、地域創造学環は地域創造教育センターの部門として統合的な組織に位置づけられました。このことは、①大学が地域の課題解決に取り組む知の拠点として機能すること、②地域が学生に対し実践教育のフィールドとして機能すること、といった双方向貢献型のシステムができあがったことを意味するものでした。

以来、地域創造学環はその中核となる教育組織として、第1期～7期入学生357名、及び他学部入学の転履修生2名を迎え入れました。地域創造学環の特色である、フィールドワーク、インターンシップ教育など、地域社会の皆様方の温かいご支援・ご協力のもとで、常にこれからの地域課題の創造的解決に向けた教育に邁進してまいりました。そして、地域創造学環は、令和元年度～3年度の卒業生140名を輩出しております。卒業した学生は、社会人として、さらに持続的な社会発展に貢献していくといった循環的關係がようやく緒に就き始めたところ です。

一方、地域課題はより高度化・専門化したものとなり、地域創造学環が掲げた、創造的解決のためには広範囲な連携と融合が不可欠とされる事態へと移行してきています。地域の活性化・地域貢献は、国際的な競争や社会・環境共生の視点を加味したグローバルなアプローチをも必要としており、さらに地球的規模ともいふべき、広い視野からの取り組みが求められるようになってきました。静岡大学は、新学部設立により、このような課題への総合知によるアプローチを行う共創型人材育成の指針を選択いたしました。発展の途上にあつた地域創造学環ですが、これまで培ってきた地域創造教育の経験と実績を、新学部におけるコース教育に生かすとともに、地域社会人材の育成など地域責任を果たすべく、最大限活用し

ていくことを今後の目標としております。

以上のような状況の下において、地域創造学環は組織を改変し、発展的に新学部に移行するという事態に立ち至りました。しかしながら、そこには学環の実績と意義がしっかりと引き継がれることをお約束いたします。

最後となりましたが、先にも述べましたように、地域創造学環は、新学部を含む学内連携をはじめ、協働を進めてきた地域の自治体・企業・民間団体の方々と、今後の地域づくり人材養成機能の維持発展についての具体的な検討作業を現在進めており、今後ともその実現に向けて、構成員一同総力をあげて努力を傾注していく所存です。引き続き、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう切にお願い申し上げます。